

TVタロウ

2010年12月24日発行 毎月1回24日発行 10月24日発売 第20巻第12号 定価330円

D-BOYSの
スペシャルユニット
ついに始動!

D☆DATE

五十嵐隼士 瀬戸康史
荒木宏文 堀井新太

10/29・11/30

2010年12月号
特別定価330円

ソン・スンホン

「ゴースト もういちど抱きしめたい」

加瀬亮 永山絢斗

「マザーウォーター」

鈴木亮平 恋たひ
swing me again

小西遼生 牙狼(GARO)
RED REQUIEM

碓井将大 「マリア様がみてる」

浅利陽介 「パートナーズ」

仲村トオル 「行きずりの街」

中村獅童 「レオニ」

ソ・ジソブ 「ロードナンバーワン」

ピーター・ホー 「三国志
Three Kingdoms」

ダニエル・ラドクリフ

「ハリー・ポッターと死の秘宝 Part1」

CNBLUE

日本でも人気急上昇! 韓国発の4人組ロックバンド

各1名様限定 全26点
サインポラプレゼント!

脚本がとにかく素敵。セリフが胸に刺さります!

佐藤健

連続ドラマ初主演作「Q10(キュート)」への想いを語る

市川知宏
「クローン ベイビー」

斎藤工 × 石田卓也
石黒英雄

「クロヒョウ 龍が如く新章」

鈴木勝吾
「古代少女隊ドゲンJ」

草川拓弥
「花嫁のれん」

長谷川博己
「セカンドハート」

今月の「絶対コレ観よう」

SP 野望篇

岡田准一 × 堤 真一

〈特撮おめざオース/000〉

渡部 秀

〈役者ノゲンバ〉

高良健吾

〈ハマリモ/Trilogy〉

加藤虎ノ介

〈演・技・人〉

宮藤官九郎

〈銀幕逢人〉

松島庄汰
〈Stageholic〉

木戸邑弥

〈撮休スペシャリティ〉

松尾敏伸

特集

エクリプス トワイライト・サーガ

「トワイライト～初恋～」 「ニュームーン」に続く最新作公開!
ヴァンパイアと女子高生の禁断のラブストーリーに新展開!

ロバート・パティンソン
テイラー・ロートナー
ピーター・ファシネリ
ハヴィエル・サミュエル
成宮寛貴

注目の俳優の
出演番組がすぐわかる!
50音順
アクターズ
インデックス

高良健吾おっかけ隊 役者ノゲンバ

#14 初ナレーション収録現場に潜入!!

ボランティアに本気で取り組む大学生に3年に渡り密着したドキュメンタリー映画でナレーションに初挑戦した高良健吾さん。楽しんで臨めたという収録終了直後の高良さんにお話を伺いました。

取材・文 平田真人 撮影 本多晃子

こうら・けんご●1987年11月12日熊本県生まれ。映画「おにいちゃんのハナビ」、「雷校」が公開中のほか、WOWOWで放送中のドラマ「マークスの山」にも出演。また、「ノルウェイの森」(12/11公開)、「白夜行」(11年1/29公開)が待機中。11年1/2より舞台「時計じかけのオレシジ」にも出演。



対面後、渡された色紙をじっくりと読んでいた高良さん



集中した様子で初のナレーション作業に取り組む

10月某日、都内の録音スタジオを訪れると高良さんは一人、マイクに向かって話していた。自身にとって、初めてのナレーションの仕事。VTRに合わせて、肅々と言葉を重ねていく。長時間に渡って続く、問はず語りの孤独な作業。しかしながら、本人の表情はいたって明るい。

「最近、芝居以外の表現にも興味が出ていたんです。そんなタイミングでこのお仕事をいただいて。前からナレーションを試してみたいなと思ってましたので、よこんで引き受けさせていただきました」

今回、ナレーションを担当したのは、12/4公開のドキュメンタリー映画「マジでガちなボランティア」。

人間が声を入れている以上、感情が揺れるのは当然と気づいた

合コンとナンパに明け暮れていた医大生が、イベントの収益金でカンボジアに学校を建設。それを機にボランティアに取り組みようになり、やがて仲間たちと学生NGO「GRAPHIS」を立ち上げ、活動に本腰を入れていく。そんな彼らがカンボジアに病院を建てるまでの3年間を、映像ディレクターの里田剛がつぶさに取材。その真剣な姿を記録した映像に、高良さんも心を動かす。

「見ている側の時は、ナレーションに感情がこもりすぎているドキュメンタリーに対しては拒否反応があったんです。映像を補足したり進行するだけなら気にならないんですけど、感情や意志が込められていた場合、どうしても視点が限定されてしまふ。それはできるだけ避けたいので、淡々と話せたらいいなと思ったんですけど、実際にナレーションを入れてみる以上、やはり感情が多少揺れるのも当然だということ。心が動いてしまったら、それを抑えることは難しい。「GRAPHIS」の活動はそれくらい素晴らしいものですね」

なお、この日は、「GRAPHIS」の現役大学生メンバーたちも陣中見舞いのために現場へ駆けつけた。たくさん熱いメッセージがしたためられた色紙を渡され、うれしそうに微笑む高良さんの表情に、学生たちも思わず顔をほころばせる。「動機は何でもいいと思うんですよ。イベントを楽しんで、お金が集まった結果、カンボジアに学校と病院が建つ。その実績を残している「GRAPHIS」に、何もしていない僕らに何か言う資格も権利もないですよ。しかも、建てて終わりじゃなくて、救急車のガソリン代や薬代など、診療所の運営を支援し続けているのがすごく素敵だな、と思います。もしも、何もしていない、同じスタートラインに立ってない人たちから何か言われたとしても、取り合つことはないと思います。みなさんは実際に誇れることをしてきているのですから。僕が言うのもおこがましいですけど、これからは素敵な活動を続けていってくださればと思います」

高良さんが彼らに送ったエールもまた、マジでガちなのであった。

今回の出演作はコチラ

「マジでガちなボランティア」
12/4巻、シネマにて期間限定レイトショー



大学生ボランティアサークルの活動を3年に渡り追ったドキュメンタリー。「カンボジアに小学校を建てない?」…そんな1通のメールをきっかけに、大学生が発展途上国の学校に行けない子供たちのための学校建設へ向けて走り出す。同世代の学生たちの純粋な姿に共感した高良さんが、初のナレーションを担当。